

社内報 3 月号

株式会社NITTOH

組織変更と人事異動

3 月 16 日付で組織の一部変更を行い、また、来年度に向けた人事異動を行います。組織の変更点とその意図するところは、以下の通りです。多くが細胞分裂するように専門性に依拠して独立した形です。統合、合併というのは縮小で、コストダウンを目的としており所謂リストラのようなことを行わないと組織を変えた意味がないわけですが、分裂していきけることはその分責任あるポジションも増えていき喜ばしいことです。当然、そのようになる活動を普段していないといけません。組織を決める時は、機能(職種など)重視にするか地域重視にするかといった事が、議論になるわけですが、それぞれ一長一短あり、規模や業務内容により答えは変わると思いますが、どちらかにしたら問題がすべてなくなるということではなく、どちらがベターということで、あまり組織論を論じていても不毛な感じがします。会社も成長し、業容や取引先も多様化し複雑性は増しており、社外、社内を問わず協力し連携をすることは増えており、具体的にどういう機能が必要でどうした情報をどこと共有するかといった議論をし、広い視野で仕事をしていくことが大切だと思います。独立した部門ごとの業績に責任をもち成長させていくことに邁進するわけですが、そのためにも他部門にも協力し、お互い連携し切磋琢磨していく優れた競争意識が大切だと思います。

①営業推進課を営業推進部に格上げ

他の事業部と同等の位置づけとし、主にエンドユーザーへの営業業務で複数の事業部にまたがる全社的な業務を担当し、販促活動をより活発に行う。

また、既存のお客様へのフォロー体制を向上させ、リピート、多品目販売、紹介増加へとつなげる活動も強化する。

②法人営業部を法人事業部へ、2 課を法人建設課へ名称変更

お取引先様によりわかりやすくすることと、社内の統一のため。

③東海事業部から、建設関係事業を行う建設事業部を分離独立

より専門性を高めて、品質、営業すべての面でレベルアップを図る。

部が大きくなったこともあり、建設、防虫各々が、独立して売上、利益とも伸ばしていく。

④不動産課の設置

お客様からのニーズに応えるべく、中古マンションの販売、リニューアル業務を実施。

また、お客様の相続、税金対策等へも対応強化。

⑤岐阜営業所内に 1 課、2 課を設置

法人対応をする 1 課とエンドユーザー対応をする 2 課とに分離。

営業的に 1 課は、法人事業部とより連携強化し、専門性を高め、お客様対応を向上させる。

⑥東京営業所内に設備課と防水課を設置

今までも活動的には分かれていたが、業績、社員数も増大し課として、それぞれが独立。

より専門性を高めて、さらに発展を目指す。

エコポイント

エコポイントが復活。前回の震災復興エコポイントでは、内窓の販売が拡大しましたが、今回のエコポイントも窓の改修が中心となることは、間違いありません。それに加えて、高効率の給湯器、節水トイレ、断熱工事も対象になるので、セットの販売が増加してくるものと思われます。住宅メーカー様でも床下断熱工事と窓の改修工事に重点をおき、戦略商品と位置づけ大幅増加を計画しているところもあります。当社としても得意とする工事ばかりですので、積極的な展開を早期に行うことが大切です。予算が多くないので、早期終了もありえます。遅れをとらないように展開していきましょう。



床下断熱工事

太陽光電力の買取価格

来年度の買取価格が決定しました。大規模 29 円(7 月より 27 円)、家庭用 33 円です。大規模は厳しい条件となりますが、この価格なら全くなるといえることはないと思います。家庭用は、10%ほどのダウンなので、発電した電力を全て販売したとして、初期投資の回収が 10 年程度だったのが 11 年になる程度なので、それほど大きく影響しないものと思われます。むしろ電気代が上昇していることや、蓄電池の性能向上、災害時への備えといった面は追風です。また、エネファームの補助金も決定。こちらも、まずまずつきましますので、水素に対する関心の高まりは大きく、ガス会社、大手住宅メーカーも販売に注力していることを考えると、確実に伸びてくるものと予想されます。当社としても、ガス会社様やサブユーザー様と協力して大幅増を狙いたいところです。

住宅メーカーの動向

住宅メーカー様や資材メーカー様も年度末となり、来年度の戦略を練っているところです。そうした話を伺っていると、前々から言われていることですが、住宅の長寿命化は進み、保証の長期化、維持コストの低減が、進んでいくことは間違いありません。住宅メーカー同士の企業競争、資材メーカー間の激しい競争が展開され、生き残っていくために、避けては通れない道です。鉄骨系メーカーがそうした面ではリードしている感じですが、木造系メーカーも負けているわけにはいかないので、同等かそれ以上の仕様へと変わってくるものと思われます。お客様のニーズは性能が高くエネルギー効率の高い住宅を長年に渡り利用し、初期投資は多少高くとも生涯にかかる費用を下げていきたいというものです。そして、住宅の保証を考えるとときに防蟻対策と防水性能の維持が、とても大き

な要因となり、どの住宅メーカーでもこの部分のサービス向上に熱心に取り組んでいます。お客様のニーズに応えていくことが、企業が生き延びていく道ですから、当社としても前向きに取り組んでいかないといけません。長期の保証となれば、施工頻度は下がり、工事会社の当社は売上が下がります。それは、住宅メーカー様や資材メーカー様も同様だと思います。しかし、ニーズに逆行することでは、新規に参入する会社や他業者にとって代われ、淘汰されてしまいます。人間はよりよいものを求めますし、社会は絶えず変化を続けていますので新しいニーズは必ずあります。積極的に新しいことにチャレンジして、業容の拡大、エリアの拡大、シェアの拡大に努めていかないと事業が縮小していくような危機感があります。

NJT で基礎沈下修正工事を実施

築 30 年の住宅で、基礎の一部が約 1 間半にわたり地盤支持力の不足で沈下し、3 か所の折損が発生。そこで、鋼管(φ 114、2.5m)を 9 本支持地盤までジャッキで注入して、基礎をジャッキアップ。セメントミルクを注入して、そのまま固化させて沈下の修正は無事終了しました。



基礎沈下修正

トクラスショールームでイベント実施

2 月 21, 22 日に名古屋市東山公園前にあるトクラスショールームでリフォームイベントを開催。ヤマハブランドからトクラスブランドになりましたが、センスの良い色使いやデザインは、そのまま、来店されるお客様も多く、ショールームは終日賑わっていました。



富山県で大型防水工事受注

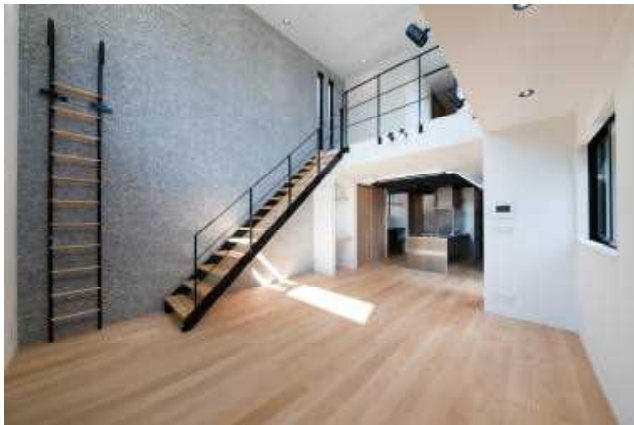
富山県黒部市で、約 135 m 四方(18,000 m²)の防水工事の受注が決まりました。3 月中旬から 5 月までの間にこれだけの面積を施工しなくてはならないので、工期的に厳しい工事となります。断熱材を敷きこみ、絶縁の塩ビシートを施工するもので、北陸営業所では施工実績の多い工事ですが、

立ち上がり部分も多く、これだけの面積ですので資材の荷揚げだけでも一苦労です。伊藤所長を中心に、東京営業所から谷村社員の応援も借りて管理をしています。当社として最大規模の防水工事現場となります。



施工事例紹介

- 施工場所：岡崎市
- 工事名：T様邸新築工事
- 建物：木造二階建て 183.02㎡(55.37坪)
- 施工面積：183.02㎡(55.37坪)
- 仕様：外壁:ガルバニウム鋼板・タイル
屋根:陸屋根FRP防水・太陽光



■担当：セブンハウス事業部 吉田幸巨

今回ご紹介させていただきます物件は、ご主人様の親御さんとの新築2世帯住宅を建築頂きました岡崎市のT様ファミリーです。

築30年ほどのヘーベルハウスを取壊し、デザイン性溢れる木造2階建ての2世帯住宅を建てたいとのことでお手伝いをしました。

完全分離の2世帯を希望されていたので、家の真ん中にアプローチを一本通すことで左右に各世帯スペースを分離でき、かつ斬新な外観作りに一役買っています。

屋根には太陽光も設置して、エコウィルとのW発電住宅にして省エネ・創エネ設備も付帯した建物になっており、外観・設備・間取りともにとっても満足頂いていると思います。



ちょっと一言

「花粉対策」

三河営業所
川村 俊之



皆様、お疲れ様です。

三河営業所の川村です。今年も宜しくお願い致します。最近、少し冷え込みが和らいできたせいか街を歩いているかたを見ると、防寒よりも花粉対策してるかたのほうが目につき始めましたね。

慢性鼻炎気味の私にとっては辛い季節がやってきたと感じております。

特に、今年の花粉の飛散量は例年よりかなり多いみたいだという情報がありますので恐ろしいですね(笑)。

衣類につけない、部屋に持ち込まない、マスク、メガネ等で予防するのが毎年の基本対策ですがなかなか防ぎきれないのが現状なところですよ。

そこで今年は、ファブリーズのハウスダストクリアというのを使ってみようと思っています。

付いた花粉を固めて落とすというもので、シュッシュと吹きかけるだけでなんと95%の花粉が除去できるという優れものみたいです。

部屋の中に持ち込まないという対策では効果がありそうなので、私と同じく花粉症に苦しんでいるかたは、試してみる価値はありそうですよ。

皆さんも、季節の変わり目は体調を崩しやすく、花粉に限らず風邪もひきやすい時期かと思われますので、事前の準備、対策をしっかりして乗り切ってください。



★Happy News★

資格取得おめでとうございます

★営業推進課 藤本さん
インテリアコーディネーター

